

2019年 会派行政視察 報告書

北広島市議会
自由クラブ

<本視察における目的>

当市に北海道日本ハムファイターズ・ボールパークの建設が決定し、今後北広島駅の改築及び周辺土地再開発並びに請願駅となる予定の「JR新駅」の設置にいたる、プロセスや周囲との合意形成などについて、先進地に学ぶものである。

8月26日（月） 14時30分から16時30分

磐田市役所 建設部都市整備課

【視察項目】

1. 請願駅である磐田新駅設置事業及び新駅南北連絡線設置事業

(都市整備課事業支援グループ) グループ長 山田卓司 様

課長補佐 栗田和彦 様 平野尚洋 様

磐田市において、昭和62年に地区住民7,455人の署名による新駅設置の請願が行われたことをきっかけに、市議会が請願を採択し、進められてきたものである。

その後、JR東海(静岡支社)へ新駅設置の要望書を提出、平成4年には磐田市東部地区土地区画整理組合を設立した。平成19年まで地区において3つの組合が設立され、平成21年に事業が完成したことによりそれぞれ組合は解散した。ここまで21年の歳月を要したことになる。

平成27年からは工事着手に向けた各種申請、実施設計等が行われ28年建築工事着手し令和2年春に開業予定となる。

請願駅は「御厨駅(みくりやえき)」と決定し、駅舎の形状は橋上駅、鉄骨造2階建て。

事業費用は、駅舎・自由通路を含み造成を除くが、約49億円である。

その他には、駅前交通広場、アクセス道路、駐輪場、駐車場組合や地権者と協議し整備予定である。

この駅は、サッカーJリーグ、ジュビロ磐田の本拠地である「ヤマハスタジアム」の近隣駅となり、これまで不便なアクセスとなり多くの観客が自家用車や長時間をかけた徒歩での来場となっていたが、この請願駅である「御厨駅」を利用することにより、徒歩18分となったことから、今後多くの観客の利用が見込まれている。また、長年の住民の悲願となる駅の新設は、周囲の新規住宅建設や新たなまちづくりとして期待されている。



以上 磐田市

8月27日（火） 9時30分から11時00分

静岡市役所 都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課

【視察項目】

2. JR 草薙駅整備事業並びに南北自由通路、周辺整備事業

(駅周辺計画係) 主査・技術士 高野 覚 様

主幹兼工事係長 村松 昇 様、主任技師 鈴木 敬弘 様

JR 草薙駅は大正 15 年に信号所として開設以来、地域の重要な交通の要として、1 日約 17,000 人の乗降客が利用する静岡市の重要な役である。JR 草薙駅を橋上駅舎化し、新たに南北地区をつなぐ自由通路と北口駅前広場を整備することにより、南北地区の往来がしやすくなり、南北一体となった交通結節機能の向上と、南北地区の交流の合わせて、エレベーター、多機能トイレなどを整備し、駅のバリアフリー化を図り、誰にでも使いやすく、安全な安心駅舎と自由通路整備するものである。

今回のリニューアルにより、自由通路を利用することで、線路をまたいで南北の往来がしやすくなり、南北地区の交流の活性化が高まるものとされている。南北一体となった(草薙ブランド)磨きにさらなる拍車がかかる事を大いに期待するものである。

都市計画への位置づけについては、明治 44 年に国鉄東海道本線、草薙信号所が開設したことを始まりとし、

大正 15 年に草薙駅が開設。その後何度も駅舎建て替えを終えた後、昭和 63 年に南口駅前広場を整備した。平成 16 年に、草薙駅自由通路の新設及び教場駅舎日の基本計画調査を実施したことを皮切りに、平成 24 年草薙駅南北自由通路の事業認可が決定した。

平成 25 年に工事を着工、平成 28 年には新駅舎及び南北自由通路の共用を開始した。

住民説明会または合意形成に至るプロセスなど検討会議メンバーにおいては、大学教授、地区連合自治会、商店街組合、再開発組合、教育関係者、周辺の銀行及び商業施設、鉄道事業者が一体的に検討会議を行い運営・管理する体制が整った。

周囲には、県立美術館を筆頭に、3 大学、小学校、静岡銀行、清水銀行、信用金庫、静岡鉄道などがありこれらでまちづくり検討会議が行われグランドデザイン等の研究会を運営している。

北広島駅及び駅西口再開発の今後のモデルとなる、非常に近似した周辺状況である。





以上 静岡市

文責 島崎圭介

令和元年度

自由クラブ 行政視察報告書

【 観察先 】 静岡県三島市

【 観察日時 】 令和元年 8月 27日(火)13:00～15:00

【 観察対応 】 三島市健康推進事業「スマートウェルネス構想」について

【 対応者 】 三島市健康推進部健幸政策戦略室 勝又瑞季氏、他三島市議会事務局

【 報告者 】 久保田 智

1) 説明内容

事業推進担当の健幸政策戦略室勝又氏よりパワーポイントを活用しての「スマートウェルネス構想」についての説明。

- ・三島市の自然環境を生かしたノルディックウォーキングの推進
- ・大学との連携による健康推進システムの構築
- ・タニタとの連携、協同事業の推進

2) 所感

三島市の環境、事業推進理念について北広島市との共通したものを感じた。自然環境を生かした考え、地の利を生かした健康推進事業などの取り組みは北広島市でもなされている。企業との連携、大学の利活用などから今後の発展への可能性が充分ある事から非常に興味深い内容であった。

【行政視察 写真】

